

高齢者における胃腫瘍に対する内視鏡的切除術の特徴と安全性 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成29年7月14日～平成32年3月31日

〔研究課題〕 高齢者における胃腫瘍に対する内視鏡的切除術の特徴と安全性についての検討

〔研究目的〕 胃腫瘍に対する内視鏡的切除術は、外科的切除と比較して身体に対する負担が少なく、最近では標準治療の一つとなっています。高齢者に対して行われることも少なくありませんが、現時点では非高齢者と比較した特徴や安全性などは十分知られていません。今回は当院で内視鏡的胃腫瘍切除術を行った方を対象に、その特徴と安全性について年齢による相違があるのかどうかを80歳以上の高齢者と非高齢者と比較し検討します。

〔研究意義〕 胃腫瘍に対する内視鏡的切除術が、年齢によって安全性が変わるのかどうか、高齢者でも安全に実施できているのかどうかを明らかにします。

〔対象・研究方法〕 医療記録（カルテ）から、2010年以降に胃腫瘍に対して内視鏡的切除を行った患者さんの服用薬、併存疾患、既往歴などの背景や腫瘍の特徴、安全性を調べ、80歳以上と未満の群に分けて統計学的手法によって相違があるかどうかを明らかにします。得られた結果は研究責任者の管理のもとで当研究室に所属する医師が評価し、より安全性と有効性が高い治療を行えるように参考にさせていただきます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

〔個人情報の取り扱い〕 個人が特定され得る記録については暗号化し、学内の規定（プライバシーポリシー）に従って、学内の施錠可能な場所に保管します。情報についての管理責任者は、内科学講座教授 山本貴嗣です。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 山本貴嗣

研究分担者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 喜多宏人

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表） [モバイル 7030]